

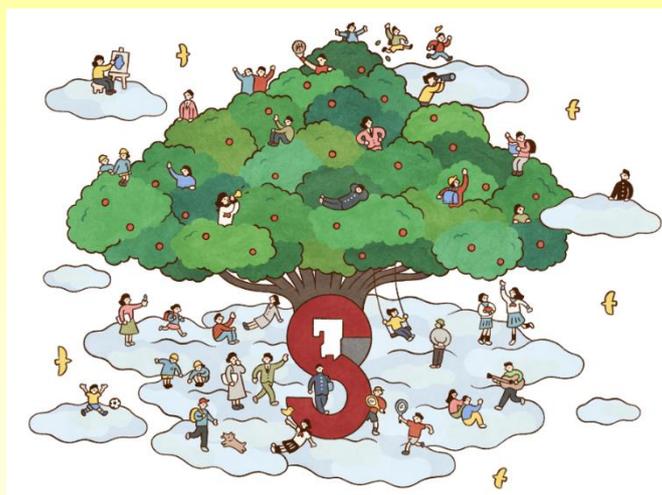
にじいろはーと vol.26

春風に乗ってほのかに花の香りが漂う季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。



さて、今年度もあっという間に残り僅かとなってまいりました。
今号は、1年の日々を振り返りながら進級や卒業シーズン真っ只中のこどもたちの様子を、事業所ごとに紹介させていただきます。

9sapo-九州若者サポートネットワーク



今年度より社会福祉法人グリーンコープとタッグを組んで実施した「九州若者サポートネットワーク(9sapo)」。
振り返ってみれば、事務局の構築や運営委員会の設立、クラウドファンディングの実施などバタバタの日々でしたが、なんとか第1回目となる「九州こども・若者おうえん助成」を実施することができました。たくさんの方からいただいたご支援を、九州地域でこどもや若者たちのサポートに伴走する団体のみなさまに還元し、おうえんのしくみを社会に循環させていきたいと思ひます。

この場をかりて、ご理解・ご支援いただいたみなさまに心からの感謝と御礼をお伝えしたいと思ひます。ありがとうございました！持続可能な取り組みにつなげていくことができるように、今後ともよろしくお願いいたします。

—第1回九州こども・若者おうえん助成の結果—

- ・若者おうえん枠 4 団体(福岡・佐賀・熊本・沖縄)
- ・活動おうえん枠 2 団体(熊本・沖縄)

に決定いたしました！！

- 詳細は 9sapoHP(9sapo.com で検索)をご覧くださいませ！！
- こども・若者おうえん団も随時募集中！！

こどもセンター
かおるおか



たのしかったね。



いっぱい笑ったね。



「なぜ?」「どうして?」考える力をつけたね。



心を通わせるともだちと出会ったね。



いっしょに過ごした あたたかくて やさしい日々…ありがとう。



低学年

今年度は八名の一年生を迎え、にぎやかなスタートとなりました。性的アセスメントの難しさを感じ、毎日が試された一年間でした。また、コロナやインフルエンザが流行し、落ち着かない環境の中で終わろうとしています。そんな中でも「なないろが好き」と言ってくれることも、元気が響きわたり、こどもたちの笑顔が絶えません。たくさん遊び、もづくり・自然体験から『がんばるチカラ』・『かかわるチカラ』が育まれ、こどもたちの心身の成長を感じる一年でした。いつもこどもたちや保護者の方々は、指導員にたくさんのお話を伝え、教えてくれます。こどもたちや保護者の方々に寄り添い、共感し、伴走しながら一緒に悩ませてくださいました。今年度もなないろに何ができたか、何が必要なのかをしっかりと振り返り、来年度の支援に活かしたいと思っております。



放課後等デイサービス
なないろ



高学年

保護者様との面談で、「うちの子、ホチキスの使い方を知らなかったんです。学校のテストでは、関連する絵を線でつなぐ問題があって、ポストとハガキを知らないという子が多かったらしいです。ハガキを冷蔵庫だと思ったりしています。経験する場が少なくなってるんだと思います。」というお話を頂きました。コロナで制限された生活が五類に移行した今年度は、感染対策に気をつけながら活動の機会を広げて、いろんな経験や体験をしてもらいたいと考えました。調理実習では、公民館の調理室をお借りして、準備から片付けまで役割分担をしました。包丁や鍋の使い方慣れている子もいれば、片付けや盛り付けに徹する子もいて、周囲を見ながら自分ができることを探して取り組んでいました。その他にも、体育館遊び、農作物作り、陶芸、せんべい体験など「また行きたい」という感想も聞くことができました。

いよいよ中学3年生が受験生となり、高校入試に挑戦しています。緊張した空気を感じますが、後輩たちには良い見本になっています。また新しい春がやって来るのを楽しみにしています。



CONET STATION



今年度も本当に多くのさまざまな方との出会いに恵まれました。児童養護施設の先生、NPO 法人の方、大学の先生や学生、株式会社やお寺など地域の方々、報道関係の方など挙げればきりがありません！

CONET が令和 5 年度に関わった方々は(令和 6 年 2 月末時点で)延べ 650 人！そのうち、いわゆるケアリーパーの方は延べ 90 人で、60 人以上のケアリーパーが STATION に来てくれました！つながりがたくさん広がっていることが本当にうれしいです。



CONET STATION では、穏やかな日常の時間が流れています。困りや悩みがある人もない人も、ただ来て、ゆっくり過ごす。好きな過ごし方をする。それが若者たちの交流拠点のあたりまえの風景です。



児童虐待防止を啓発するソーシャルアクション「オレンジリボン」運動に CONET も若者たちと一緒に参加！世間の社会的養護への関心がさらに高まりますように。

ご縁あって、他県の若者たちと交流する機会がありました。ここにも仲間がいたんだという気づきがあり、みんなとても楽しく過ごすことができました！



令和 6 年 1 月開催の社会的養護等経験者全国交流会に CONET も参加しました。自分たちだけでなく、多くの若者がだれかのために活動し、ともに支え合っていることを知り、優しく温かい思いを生で体感することができました！



内田 理美

県外の若者とも交流を通してつながれと共に、改めて「社会的養護経験者」のライフステージごとの困難を感じた一年だったと思う。

私自身様々な困難を感じてきたけども、まだ経験していないライフステージがあり、それを若者と接する中でリアルに知ることができた。その中でも特に「結婚」「出産」「育児」の困難さを目の当たりにし、支援の難しさとケアリーパーとして他人事ではないと怖くなった。でも支えてくれる存在がいることを私は知っているから幾分かは気持ちが違う。そんな存在がいるのだと知ってもらい、少しでも安心してもらえるよう関わっていきたいと思う。

後藤 拓也

今年度の活動では CONET の幅が広がったと感じました。まず、社会的養育経験者/ケアリーパーとの相互交流という軸は昨年度よりもパワーアップしていると実感しています。その軸が強化され、人々の出会いや経験が積み重なったことにより、機関の研修会や地域のイベント等に参加することができました。すなわち、若者たちが社会に対して声を上げるということが実現しつつあるのです。幅広い活動の中で視野も広げて成長していく CONET にこれからも目が離せない！そして、すべてのこども・若者たちにとってより良いワクワクドキドキな社会を切り拓いて欲しいと思っています。

川村 涼太郎

「こども若者の未来は何色か」
—CONET の活動からは多くの可能性がみえました。若者たちが若者同士さらに地域とつながることで、私たち自身が、そして出会った若者や地域、社会の方々が、いろいろな喜びや価値を感じることができたと思います。オレンジ色はこどもの明るい未来を表していると言いますが、こどもの数だけ未来の色があり、そうした喜びや価値に満ちあふれた希望がおける社会の実現こそ、これからのこども・若者の未来を明るく七色に照らすためには絶対に不可欠だと思います。私にこのことを確信させてくれたのは、CONET を通じて得てきた実感や出会ってきた方々です。

ご意見・ご質問等あれば、下記事務局まで電話またはメールにてお尋ねください。

【事務局】

〒870-0043 大分市中島東1丁目3-5ジャガール中島2F

☎(097)574-6108 ✉jimukyoku@oita-konet.net

